

2023年（令和5年）の天候

2023年（令和5年）の日本の天候は、年平均気温は全国的に高く、特に北・東・西日本で記録的な高温となりました。秋は西日本太平洋側で記録的な少雨多照となりました。

2023年（令和5年）の日本の天候の特徴は以下のとおりです。

○年平均気温は全国的に高く、特に北・東・西日本で記録的な高温となりました。春から秋にかけて気温の高い状態が続き、低温は一時的だったため、年平均気温は全国的に高く、特に北・東・西日本でかなり高くなりました。1946年の統計開始以降、北・東日本では年平均気温が1位の高温、西日本では1位タイの高温となりました。北・東日本は春・夏・秋の3季節連続で季節平均気温が1位の高温となり、西日本では夏の平均気温が1位タイの高温となりました。

○秋は西日本太平洋側で記録的な少雨多照となりました。東・西日本太平洋側と沖縄・奄美では、秋雨前線や低気圧、台風の影響を受けにくく、高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、秋の降水量はかなり少なく、秋の日照時間はかなり多くなりました。特に西日本太平洋側では、秋の降水量平年比が48%、秋の日照時間平年比が120%となり、1946年の統計開始以降、秋として1位の少雨及び多照となりました。

別紙（概況、統計値等）[PDF形式:2.27MB]

https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/data/stat/tenko2023_besshi.pdf

問合せ先：電話 03-6758-3900（代表）

- ・（観測値や記録） 大気海洋部 観測整備計画課 村井（内線 4268）
- ・（天候・梅雨の解説） 大気海洋部 気候情報課 楳田（内線 4546）